

# 「JA集出荷システム」がバージョンアップ システムを導入しているJA利用者の声を反映し、複数の機能を追加

JAの集出荷場では、生産者が荷物を持ち込む際の伝票や卸売市場への出荷報告書など、紙の書類が多く使われており、システムへのパンチ入力や卸売市場へのFAX送信など、アナログ作業が多く残っている実態にあります。全農では、この作業をデジタル化し、集出荷業務を効率よくするため、出荷情報をデータ化して集出荷場の荷受けから出荷までの業務をシステムで一元管理できるクラウドシステム「JA集出荷システム」(図1)の導入を推進しています。

JA集出荷システムは、令和6年9月からスマートフォン・タブレット入力に対応し、同年11月に生産記帳スマホアプリ「AGURIHUB」(アグリハブ)との連携も開始しました。令和7年5月にはJA・生産者間のコミュニケーションツールや二次元コード読み取り機能の追加実装を予定しています。

## 出荷情報のスマートフォン・ タブレット入力に対応

出荷情報のデータ化については、これまでハンディターミナルによるバーコードやマークシートの読み取りで対応していましたが、令和6年9月から生産者によるスマートフォンへの入力や、JA職員の集出荷場でのタブレ

ット入力に対応しました(写真1)。これにより、生産者の当日出荷や今後の出荷予定を集荷場で事前に把握することが可能となり、集荷場での荷受業務の効率化や紙伝票の削減につながりました。

また、タブレット対応により、インターネット回線を引けない地域にある集出荷場でもシステムを利用できるようになりました。

## 出荷報告書PDFメール送信機能

卸売市場への出荷報告については、これまでシステムで印刷してFAXで送信していましたが、FAX未送信や送



写真1 JA集出荷場でのタブレット操作説明の様子

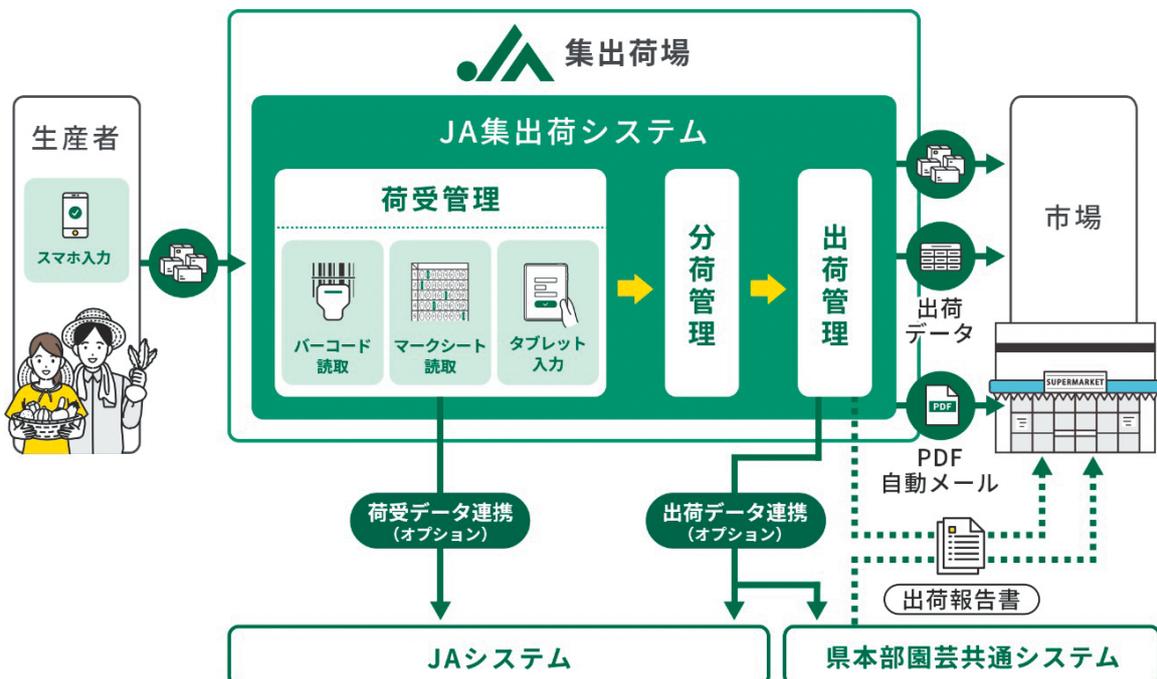


図1 「JA集出荷システム」の概要図

出荷報告書一覧画面で送信対象の出報にチェックを入れ、「メール送信を行う」をクリック



図2 出荷報告書PDFのメール送信機能(新機能)

- 生産者向けのお知らせ画面を開発しています。(令和7年5月 実装予定)
- JAと生産者をつなぐコミュニケーションツールとしてご利用いただけます。

生産者スマートフォンメニュー画面

スマートフォンのカメラで生産者個別の二次元コードを読み取後、LINEでお友達登録されます



※開発中のイメージ画面です。(令和6年12月時点)

図3 J A・生産者間のコミュニケーションツール



図4 二次元コード読み取り機能イメージ



※開発中のイメージ画像です。(令和7年2月時点)

信遅れによる電話問い合わせもしばしば発生しており、改善を求める声が多くありました。今回、システムにメール送信機能を追加したことにより、出荷報告書の作成と同時にPDF化して市場担当者にメール送信できるようになり、FAXや電話対応といったアナログ作業の削減につながりました(図2)。

### 他アプリとのシステム連携

生産者が肥料・農薬の管理といった毎日の農作業や農業経営に係る内容を記帳できるスマートフォンアプリ「アグリハブ」とシステム連携を開始しました。アグリハブの農業日誌画面からJA集出荷システムの出荷予約画面に移動して青果物の出荷情報が入力可能となり、栽培履歴と農薬の記帳から出荷予約までの登録をスマートフォンアプリで完結することで生産者の利便性が向上しました。また、JAも出荷伝票と栽培履歴などの突き合わせをシステムのデータで確認できるようになり、作業時間の短縮が可能になりました。

### JA・生産者間のコミュニケーションツール

JAから生産者に向けた発信(部会開催案内、アンケート、市況連絡など)、および生産者からJAへの発信

(出欠確認、アンケート回答など)が、LINEの機能を使って簡単にやり取りできるようになります(図3)。令和7年5月に追加実装を予定しています。

### 荷受管理における二次元コードの活用

さらに、二次元コード読み取り機能も現在開発中です(図4)。これにより、バーコード読み取り方式よりもシール枚数を削減でき、スマートフォン・タブレットのカメラ機能を活用した一括読み込みによる作業時間の短縮、分荷結果データと突き合わせた検品業務が行えるようになるなど、さらなる利便性向上が見込めます。



JA集出荷システムは、今後も青果物・花き集出荷業務のさらなる効率化に向けてバージョンアップを進めていく予定です。安全・安心な青果物をより確実に消費者のもとに届けられるよう、全農はシステム面からのサポートも含め取り組んでいきます。

JA集出荷システムについては二次元コードをご覧ください。



【全農 園芸部 園芸流通・システム課】